

事業報告書

(第 6 期)

自 2024年 4月 1日
至 2025年 3月 31日

一般社団法人 日本金融商品仲介業協会

一般社団法人 日本金融商品仲介業協会
第 6 期 （2024 年度）事業報告書（案）

I 概 要

一般社団法人日本金融商品仲介業協会（以下「当協会」といいます）の事業活動に関し、本報告書を取りまとめました。

当協会は、金融商品仲介業の健全な発展を図るとともに、投資家保護の充実を目的として活動しております。第 6 期（2024 年度）（以下「本年度」といいます）も、会員の皆様とともに、業界の信頼性向上と市場の健全な発展に努めるべく、「顧客本位の業務運営」の推進に注力しながら、会員の品質の向上、会員の役職員等の専門性及び倫理観の向上、金融商品仲介業の社会的認知の向上並びに国民の金融リテラシーの向上に資する事業を行い、また、会員間の情報共有及び行政や関係団体等との連携を強化して参りました。

当協会の活動が、会員各位並びに関係者の皆様のご理解とご支援のもと、引き続き充実していくよう努めて参ります。

最後に、本協会の活動にご協力いただいた関係者の皆様に心より感謝申し上げますとともに、今後とも一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

本年度に実施した主な事業は以下のとおりです。

- 「乗合い等に関するガイドライン（Ⅰ）」の策定、公表
- セミナーを 5 回実施、ゴールベースアプローチ研修実践編の実施
- 第 5 回 FA カンファレンスの実施（対面 110 名とオンライン 110 名の参加）
- 第 2 回海外視察（米国）の実施（正会員 10 社 18 名の参加）
- ラウンドテーブルミーティングの実施（正会員対象、対面）
- 第 1 回経営者オフサイトミーティングの開催（正会員対象、対面、@軽井沢）
- 懇親会 5 回開催（各回会員 30 名～50 名程度の参加、対面）
- マスコットキャラクターの決定
- 京都大学主催イベント「京都大学金融セミナー（6/11）＜金融リテラシーが未来を拓く＞」に協賛（オンライン参加者 388 名、学生や一般人）
- 金融庁市場課及び証券課を訪問、協会の現状や課題認識について報告、意見交換
- 日本証券業協会や MDRT 日本会、保険乗合代理店協会などと広報や研修、情報収集等で連携・協働

II 事業報告

1 会員加入状況

2025 年 3 月末時点の会員の加入状況は、以下のとおり合計 84 先となった。

	正会員	法人アソシエイト	個人アソシエイト	委託正会員	法人賛助会員
2022 年 3 月末	23 社	6 社	12 名	8 社	29 社
2023 年 3 月末	24 社	5 社	11 名	7 社	29 社
2024 年 3 月末	35 社	—	15 名	4 社	31 社
2025 年 3 月末	37 社	—	17 名	3 社	27 社
増減	+ 2 社※	—	+ 2 名	▲ 1 社	▲ 4 社

※2024 年 1 月より法人アソシエイト(5 社)を正会員に統合した。

2 定款等の改正

- ◆ 2025 年 3 月 6 日に開催した臨時社員総会において会員種別の見直し等が以下のとおり決議された。
 - 個人アソシエイトをアソシエイト会員及び個人賛助会員に区分
 - アソシエイト会員の年会費は 12 万円、個人賛助会員の年会費は 1 万円
 - 新たな年会費の規定は 2026 年 4 月から適用
 - 退会する場合、その会員から納入された年会費は返金しない旨を規定

(改正の趣旨は以下のとおり)

現行の「個人アソシエイト」は、定款第 5 条及び会員規程第 2 条に「当法人の目的に賛同する個人であって、当法人の活動を後援するもの」と規定されており、金融商品取引関連の経営者や個人 IFA、マスコミ関係者等が混在している。

そこで、会員が受けられるメリットを考慮のうえ、「個人アソシエイト」を属性により区分し、金融商品取引関連事業に従事している者（個人 IFA 及び IFA 法人所属の IFA や金融商品取引業に従事する等のプロ（海外の IFA や RIA 等所属の個人を含む）を対象とする「アソシエイト会員」とその他の者（例えば学生や記者等）を対象とする「個人賛助会員」（FP 資格、証券外務員資格や証券アナリスト資格等の金融商品に関連する資格保有者である場合も個人賛助会員になり得る）に分割、年会費は、「アソシエイト会員」は 12 万円、「個人賛助会員」は 1 万円とする内容の改正を行う。

また、退会にあたって、月割りで年会費を返金する旨の規定を改め、返金を行わないとする改正を行う。

なお、これらの改正は、2025 年 4 月 1 日施行とし、新たな年会費の改正は 2026 年 4 月 1 日から適用する。

3 会員の品質向上

ガイドライン策定・検討委員会の開催状況

今年度中、以下のとおりガイドライン策定・検討委員会を 3 回開催した。

開催日	テーマ
第 1 回 2024 年 5 月 30 日	ガイドライン策定・検討委員会の検討状況について
第 2 回 2024 年 9 月 11 日	日本金融商品仲介業協会ガイドライン（Ⅰ）について
第 3 回 2025 年 3 月 19 日	ベストプラクティスについて

乗合い等に関するガイドライン（Ⅰ）を策定、公表を行った。

4 会員の役職員等の専門性及び倫理観の向上

(1) 研修委員会の開催状況

今年度中、以下のとおり研修委員会を 6 回開催した。

開催日	テーマ
第 1 回 2024 年 5 月 21 日	・ 2024 年度セミナー・勉強会等年間計画を協議した。 ・ 社員総会（6/21）後セミナー等のプログラムを協議した。 ・ MDRT 日本会代理店分会とのコラボ企画を決定した。 ・ 今期の海外（米国）視察について協議した。
第 2 回 2024 年 7 月 9 日	・ 新たに 3 名の委員が就任した。 ・ 第 2 回セミナーのプログラムを決定した。 ・ 米国視察について、RIA 事業者の訪問先を決定した。 ・ 2024 年度に開催するセミナー・勉強会等の年間計画について協議した。
第 3 回 2024 年 9 月 10 日	- FA カンファレンスの企画・立案・運営（認知度向上委員会との共同開催） ・ 10 月のラウンドテーブルやセミナーのプログラムを決定した。 ・ 第 5 回 FA カンファレンスのプログラムについて協議した。
第 4 回 2024 年 11 月 12 日	・ 第 5 回 FA カンファレンスの最終調整について協議した。 ・ 第 2 回海外（米国）視察の報告会の開催を決定した。 ・ 2 月のラウンドテーブルミーティングおよびセミナーのプログラムを決定した。
第 5 回 2025 年 1 月 21 日	・ 2 月セミナーのテーマや講師候補者を決定した。 ・ 来季のセミナーの重点テーマについて協議した。
第 6 回 2025 年 3 月 11 日	・ 2025 年度第 1 回セミナーのプログラムについて、決定した。 ・ 来季セミナーの重点テーマについて協議した。

(2) セミナー実施状況

今年度中、以下のとおり5回のセミナーを実施した。

開催日	テーマ	登壇者
第1回 2024年4月19日	「オールカントリー」・「S&P 500」ブームへの考察 ― 今投資家に伝えるべきこととは ―	楽天証券資産づくり研究所 副 所長 ファンドアナリスト 篠田 尚子氏
第2回 2024年6月21日	① 日本証券アナリスト協会の新資格「資産 形成コンサルタント」などについて ② GAIA はなぜ TOKYO PRO Market に上 場したのか？	日本証券アナリスト協会理事 事務局長 福地 慶太氏 【パネリスト】 GAIA 代表取締役社長(当 協会理事長) 中桐啓貴氏 GAIA 管理部長執行役員 窪田淳行氏 日本M&Aセンター TOKYO PRO Market 事業部 上場推進 部副部長 横田賢一氏 【ファシリテーター】Fan 代 表取締役社長 (当協会理事) 尾口紘一氏
第3回 2024年8月30日	① 「コミッション無料化」後の米国投資 商品販売業界の現状と展望 ② 信託を使った、ゴールベース資産管理 の支援方法と応用	NRI アメリカ 金融・IT 研究 部門長 (当協会理事) 吉永高士氏 司法書士法人燦リーガル事務 所 代表社員 鈴木敏起氏
第4回 2024年10月25日 ＜大阪開催＞	パネルディスカッション テーマ 「採用・人材育成の課題や取組み について」	【パネリスト】 ブロードマインド株式会社 取 締役 大西 新吾氏 ファイナンシャルスタンダー ド株式会社 研修担当 井口 瑞基氏 アドバイザーナビ株式会社 代 表取締役 松岡 隼士氏 【ファシリテーター】 株式会社 Fan 代表取締役

		(当協会理事) 尾口 紘一氏
第 5 回 2025 年 2 月 28 日	「ストック型ビジネスモデル」の構築へ ～ フィービジネスの実践～	いちよし IFA 株式会社 代表取締役社長 杉浦 雅夫氏

一般社団法人 MDRT 日本会が 2024 年 7 月 17 日に主催した「MDRT 代理店分会 夏の研修会」にコラボレーションし、中桐理事長による挨拶と吉永理事から「対面営業員の事業と顧客の預かり資産に右肩上がりの成長をもたらす「ゴールベース資産管理」～ 日本で応用する際の留意点と保険系アドバイザーならではの要諦も含めて～」と題して講演を行った。

賛助会員のピクテ・ジャパン株式会社が 2024 年 10 月 18 日から 2025 年 7 月 18 日までに主催する「プライベート・バンキング・アドバイザー研修」(セッション 16 回 ワークショップ 4 回)に企画協力し、吉永理事が特別セッション「顧客全員と FA の成功と幸福が右肩上がりになる「正しい」ゴールベース資産管理の方法」と題して講演を行った。

(3) ゴールベースアプローチ研修実践編の実施

会員所属アドバイザーの専門知識やスキルの向上を目的として実施された「ゴールベースアプローチ研修実践編」は、2023 年度シリーズ第 4 回(最終回)として下記のとおり実施した。

開催日	テーマ	登壇者
2023 年度シリーズ 第 4 回・最終回 2024 年 4 月 19 日	ゴールベース資産管理の元祖・米大手証券 のFA育成プログラムの概要	NRI アメリカ 金融・IT 研究部門長(当協会 理事) 吉永 高士氏

(4) FA カンファレンス実施状況

第 5 回 FA カンファレンスは、2024 年 11 月 29 日、MDRT 代理店分会協力の下、対面 110 名とオンライン 110 名の参加を得て実施した。またサブ会場にて、出展した法人賛助会員 7 社によるランチョンセミナーを開催し約 60 名の参加があった。

テーマ	登壇者
賛助会員によるランチョンセミナー	ピクテ・ジャパン株式会社 株式会社キャピタル・アセット・プランニング アセットマネジメント One 株式会社 モーニングスター・ジャパン株式会社 三菱 UFJ アセットマネジメント株式会社 株式会社 QUICK 野村アセットマネジメント株式会社

主催者挨拶	日本金融商品仲介業協会 理事長 中桐 啓貴
【基調講演】 資産運用立国に向けた取組み及び金融商品取引 法等の改正について	金融庁 企画市場局 市場課長 齊藤 将彦氏
【特別講演】 おひとり様増加で注目を集める「遺贈寄付」、自 分らしい最後のお金の使い方を提案するために 知っておきたい 3 つの誤解	一般社団法人 日本承継寄付協会 代表理事 三浦 美樹氏
パネル① 「ファイナンシャルプランニングツールの最前 線」	<パネリスト> 株式会社キャピタル・アセット・プランニング 代表取締役社長 北山 雅一氏 モーニングスター・ジャパン株式会社 代表取締 役社長 チャン・ユーツン氏 株式会社 QUICK 金融ソリューション事業本 部 資産運用研究所 主席研究員 山本 智太郎 氏 <ファシリテーター> GAIA 株式会社 代表取締役社長（当協会理事 長）中桐 啓貴氏
パネル② 「NISA を活用したポートフォリオ構築につい て」	<パネリスト> ピクテ・ジャパン株式会社 エグゼクティブ・デ ィレクター 運用本部 投資戦略部長 塚本 卓 治氏 フィデリティ投信株式会社 執行役員 戦略営業 本部長 新村 光秀氏 野村アセットマネジメント株式会社 資産形成 ソリューション部長 川嶋 昭臣氏 <ファシリテーター> シグマ株式会社 代表取締役 吉田 篤氏
IFA 座談会 日本におけるゴールベース資産管理の実践者に 聞く	< 登壇者 > GAIA 株式会社 プライベート FP 天田 達巳氏 ファイナンシャルスタンダード株式会社 奥園 拳氏 株式会社 Fan 東京本店 IFA 今井 茉耶子氏

	エフピーサポート株式会社 IFA 事業部 営業部 営業責任者 杉浦 圭氏 <ファシリテーター> NRI アメリカ 金融・IT 研究部門長（当協会理事）吉永 高士氏
--	---

(5) 海外視察の実施

正会員の一層の専門性向上を目的として2024年9月17日（火）から2024年9月25日（水）の間、第2回海外視察として米国視察を実施した。10社18名の他吉永理事が参加した。前半（9月17日（火）～20日（金））はオハイオ州コロンバスでFPAカンファレンスに参加し、RIA TSG Adviceへ訪問した。

後半（9月23日（月）～25日（水））はシカゴ現地RIA等を訪問した。

また、2025年2月28日に報告会を実施した。

5 金融商品仲介業の社会的認知の向上

今年度中、以下のとおり認知度向上委員会を6回開催した。

開催日	テーマ
第1回 2024年5月29日	今後の施策について ・協会マスコット公募 ・プロ向け 認知度向上コンテンツ ・会員拡大活動について ・協会ホームページ改修案
第2回 2024年7月24日	メディア掲載情報 HP 流入数、改修施策 協会マスコットキャラクター投票方法について プロ向けコンテンツについて
第3回 2024年9月10日	研修委員会との合同開催 FAカンファレンスの企画・立案・運営について
第4回 2024年11月27日	協会ノベルティグッズについて 今後の施策案について ・プロ向け認知度向上コンテンツの作成 ・コラム（協会HP掲載）
第5回 2025年1月29日	第5回FAカンファレンス ダイジェスト動画について 今後の施策案について ・プロ向け認知度向上コンテンツの作成 ・コラム（協会HP掲載）
第6回 2025年3月26日	協会パンフレット作成について

また、以下の活動を行った。

① 協会ホームページ等の活用

- ・協会ホームページに「投資を学ぼう」のコラムを3本掲載し一般投資家向けコンテンツの充実を図った。

- ・X アカウントにて投稿を継続的に行った。
 - ・メールマガジンの配信 毎月1回、会員等へのメッセージ発信や連絡等を行った。(12回/新春特別号1回)
- ② マスコットキャラクターの決定
- 全会員に募集し、マスコットキャラクター（ふくのすけ）を決定した。
- ③ メディア等の対応
- ・協会や会員の活動について専門情報誌への寄稿や広告を実施する等情報発信に努めた。2024年1月から7月の期間、ニッキンにて会員が回答する「預かり資産営業の"お悩み"Q&A」連載を開始した。本年度中に発信した「お知らせ」は55件。

6 金融リテラシー関連事業

国民の金融リテラシー向上に資することを目的とした委員会を立ち上げ、2回開催した。

開催日	テーマ
第1回 2024年11月12日	金融リテラシー委員会の今後の活動について
第2回 2025年3月11日	協会リーフレットの作成について

京都大学主催イベント「京都大学金融セミナー（6/11）＜金融リテラシーが未来を拓く＞」に協賛（オンライン参加者388名、学生や一般人）し、中桐理事長がキーノートスピーチに登壇、「ファイナンシャル・アドバイザーの役割とは」をテーマに講演を行った。

7 会員間の情報共有及び行政等との連携

① 会員間の情報共有

会員間の意見や情報交換、金融商品仲介業界における課題認識を共有する場として、正会員を対象に対面によるラウンドテーブルミーティング及び経営者オフサイトミーティングを以下のとおり開催した。また、4月、6月、8月、10月及び2月に懇親会を開催した。

ラウンドテーブルミーティング

開催日	テーマ	進行役
第1回 2024年4月19日	新NISAの活用と各社の取り組みについて	株式会社Fan 代表取締役 (当協会理事) 尾口 紘一氏
第2回 2024年8月30日	「内部管理上の課題」	株式会社アンバー・アセット・マネジメン 代表取締役 友田 行洋氏
第3回 2024年10月25日	「新NISAの活用と各社の取り組みについて（2024年後半編）」	ファイナンシャルスタンダード株式会社 代表 取締役（当協会理事）福田 猛氏

経営者オフサイトミーティング

開催日	内 容	参加者
2024 年 8 月 1 日 ～2 日	1. 以下のテーマについて直面している課題や悩みへの解決策や経験談を共有 ①人の課題（採用・育成・評価等） ②マーケティング ③その他 2. 懇親会	17 名

② 行政や関係団体等との連携

金融庁市場課及び証券課を訪問し、協会の現状や課題認識について報告、意見交換を行った。

日本証券業協会や MDRT 日本会、保険乗合代理店協会など、広報や研修、情報収集等で連携・協働した。

8 会員の加入促進

会員加入のための説明会を以下のとおり福岡及び大阪で実施した。

日程	場所	参加者数
2024 年 10 月 24 日(木)	福岡	4 社 5 名（うち 1 名個人）
2024 年 10 月 25 日(金)	大阪	6 社 7 名（うち 1 名個人）

9 アンケートの実施

正会員は倫理綱領・行動規範に沿って真に顧客本位の業務運営に取り組むことに賛同している。

その取組み状況を調査し、実態の公表を行った。

事業報告の附属明細書

- ・ 2024 年度事業報告には、事業報告の内容を補足する重要な事項は特になく、 「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」 第 34 条第 3 項に規定する附属明細書は作成しない。